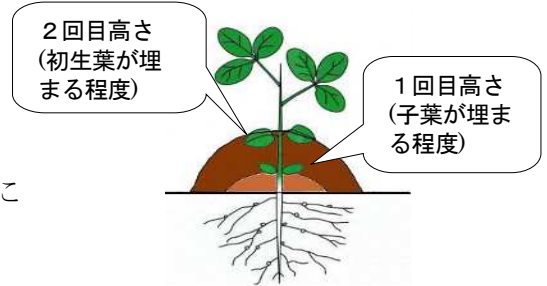


初期生育の確保のため、「適期の培土」「排水対策」「草種に応じた雑草防除」を徹底しましょう

1 培土の実施

- 1回目の培土は、本葉2～3葉(播種後20～25日)
2回目の培土は、本葉4～5葉(播種後30～35日)
の適期に実施する。
- 培土は、株元までしっかりと土をかける。
- 培土作業後は、速やかに培土溝を額縁排水溝と排水口に
連結する。



2 雑草防除

- 草種や発生状況に応じ、適切な除草剤(下表)を選択して遅れずに散布する。
- 散布の際は、飛散の少ないノズルの使用や風の弱い時間帯を選ぶなど、周辺作物に飛散しないように注意する。

表 生育期間中に使用可能な除草剤

| 種類 | 散布方法 | 雑草の種類 | 薬剤名 | 使用量 10a 当たり | 注意 |
|---------|-----------------------|------------------------------------|----------------|----------------------|---|
| 選択性除草剤 | 全面散布 (大豆の上から散布が可能) | 1年生イネ科雑草 (スズメノカタビラ除く) | ポルトフロアブル | 薬液200～300mℓ 水100ℓ | ・散布は2回まで、収穫30日前まで ・イネ科雑草3～10葉期 |
| | | 1年生雑草 (イネ科除く) (帰化アサガオ類6葉期まで) | 大豆バサグラン液剤 | 薬液100～150mℓ 水100ℓ | ・散布は1回まで、収穫45日前まで ・大豆2葉期～開花前まで ・著しい高温時や、大豆の生育不良の場合は使用を避ける |
| 非選択性除草剤 | 畦間散布 (大豆にかけない) | 1年生雑草 | ロロックス | 薬剤100～200g 水100ℓ | ・雑草茎葉散布は1回まで ・収穫30日前まで ・大豆3葉期以降(雑草15cm以下) ・株間処理の登録あり |
| | | 雑草全般 | ザクサ液剤 バスタ液剤 | 薬液500mℓ 水100ℓ | ・ザクサ、バスタの総使用回数は、 両剤合わせて3回以内 ・収穫28日前まで ・バスタは大豆5葉期以降、株間散布の登録あり |

吊り下げノズルを使用する

※管内で多発している雑草
イヌホオズキ(左写真)、
エノキグサ(右写真)

下記体系
で対応



非選択性
除草剤で
対応

【作業体系例 ～イヌホオズキ類の防除体系～】

| 大豆の生育 作業日目安 | 播種 | 2葉期 | 3葉期 | 4葉期 | 5葉期 | 成熟期 |
|----------------|--------------------------|------------|------------------|------------|-------------------------|----------|
| | 6/5 | 6/25 | 6/30 | 7/5 | 7/10 | 10/12 |
| | ▽ | ▽ | ▽ | ▽ | ▽ | ▽ |
| 作業等 | ▲ プロールプラス、 ラクサー等散布 | △ 1回目培土 | ▲ ロロックス 散布 | △ 2回目培土 | ▲ バスタ液剤、 ザクサ液剤等散布 | △ 手取り |